

対象国の条件:

研修コース番号 :J1804349

案件番号 :1884833

主分野課題 :環境管理/一般廃棄物

副分野課題 :

使用言語 :英語

案件概要

廃棄物管理状況を客観的に理解し、目標策定を容易にし、住民の理解及び協力を促し、並びに民間関連企業の進出を推進するためには、廃棄物データは必須である。廃棄物収集・処理データを効果的に活用している国は少ない。本研修では、都市廃棄物担当の行政職員に対して廃棄物管理の基礎データ（廃棄物発生・収集・処分量、リサイクル量等）取得の意義、採取方法、解析評価の方法を学ぶことを目的とする。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

研修参加者の所属する中央または地方政府機関等の廃棄物年報案、及び廃棄物データを活用したアクションプラン案が作成される。

【対象組織】

廃棄物管理を担当する中央または地方政府機関

【成果】

1. 日本が過去において、どのようなデータ管理により、廃棄物管理に役立ててきたかを説明できる。
2. 基礎データの種類、採取方法、解析評価の方法が説明できる。
3. 講義を通じて、廃棄物データが現状の評価、将来計画及び住民対応にどのように活用されているかを説明できる。
4. 廃棄物管理の現場見学を通じて、廃棄物データがどのように活用されているかを説明できる。
5. 廃棄物年報および将来計画の作成方法が説明できる。

【対象人材】

1. 中央政府または地方政府で以下の業務に従事している者を優先する。（中央政府1名、地方政府1名の計2名での参加が望ましい）
 - (1) 廃棄物管理データ収集/処理/集計業務
 - (2) データ収集/処理/集計の責任者（課長等）
 - (3) 廃棄物管理データ収集/処理/集計支援業務
2. 3年以上の廃棄物管理の経験を有すること。
3. 原則として45歳以下

内 容

- <事前活動> 研修参加者の責任地域の現状の廃棄物データについてのレポート作成。
- <本邦研修>
1. 講義：廃棄物処理の歴史とごみ統計、公衆衛生と廃棄物データ、廃棄物データ各論、廃棄物データの収集方法、データ集計と評価、日本の廃棄物事業評価手法及び評価手法、廃棄物処理計画作成手法、JICA事業におけるデータ収集・分析事例の紹介
 2. 見学：廃棄物収集・処理・処分施設、リサイクル施設
 3. 演習：収集運搬・中間処理・最終処分に係るデータの収集・集計と作表作図。
 4. ディスカッション及びアクションプラン作成：研修参加者間でデータ採取に関する経験を共有するとともに改善の手がかりを得る。研修の成果として廃棄物年報及びアクションプランのドラフトをまとめる。

本邦研修期間

2018/5/20～2018/6/7

担当課題部

地球環境部

所管国内機関

JICA横浜

関係省庁

実施年度

2016～2018

主要協力機関

一般財団法人 日本環境衛生センター

**特記事項
及び
ホームページ**

<http://www.jesc.or.jp/>